

ゼロエミッション

zero emission

最新の第5次エネルギー基本計画

(参考資料①p.105)

2030年エネルギーミックスは、
主として既存技術による最大限の対応を念頭に
展開する。
再生可能エネルギーと原子力による
ゼロエミッション電源比率の達成を目指す

この書き方だと『ゼロエミッション電源』に原子力は含まれてますよね。
“CO2削減” ”パリ協定”といった話題が出るとき、
「原子力がゼロエミッション電源」という理屈はよく見かけます。

でも。。。
「ゼロエミッション」の emissionって『排出物』って意味です。

(ウィズダム英和辞典 第3版)

そのまま訳せば「排出物ゼロ」。。。原発が「排出物ゼロ」って？

zero emission

1992年にリオデジャネイロで開催された
「国連地球サミット」で採択された「アジェンダ21」

持続可能な開発の
あらゆる領域における
包括的な地球規模の行動計画

(参考資料②)

➡ これを受けて1994年に国連大学が提唱した考え方

”人間の活動から発生する排出物を
限りなくゼロにすることを旨しながら
最大限の資源活用を図り、
持続可能な経済活動や生産活動を展開する
理念と手法”

(参考資料③)

参考資料

①資源エネルギー庁HP エネルギー基本計画について 「第5次エネルギー基本計画」
http://www.enecho.meti.go.jp/category/others/basic_plan/

②国際連合広報センターHP 「アジェンダ21」
http://www.un.org/activities/economic_social_development/sustainable_development/agenda21/

③国連大学協会HP 「国連大学ゼロエミッションフォーラム」
http://www.jfunu.jp/about_unu/zef.html

④資源エネルギー庁HP 小学生向け副教材 かがやけ！みんなのエネルギー【教師用解説編】ストーリー5 7.地域や企業の取り組み
<http://www.enecho.meti.go.jp/category/others/tyousakouhou/kyouikuhukyu/fukukyuzai/sk/5-7.html>

⑤資源エネルギー庁HP 「エネルギー白書2018」
<http://www.enecho.meti.go.jp/about/whitepaper/>

資源エネルギー庁もちゃんと説明しています。
資源エネルギー庁の小学生向け副教材「かがやけ！みんなのエネルギー」
の教師用解説編によると

(参考資料④)

ゼロエミッションとは、
国連大学が1994年に提唱した構想で、
あらゆる廃棄物を原材料などとして
有効活用することにより、
廃棄物を一切出さない
資源循環型の社会システムのことをいう。

原発で”廃棄物”が出ることもちゃんと認識してます。
第5次エネルギー基本計画

(参考資料①p.52)

廃棄物を発生させた現世代として、
高レベル放射性廃棄物の
最終処分へ向けた取組を強化し、
国が前面に立ってその解決に取り組むが、
そのプロセスには長期間を必要とする。

なのに、なんで原発を「ゼロエミッション電源」って言えるのか？

エネルギー白書2018

(参考資料⑤p.111)

太陽光や風力等の再エネと原子力発電等の、
発電時にCO2をあまり出さない電源を
ゼロエミッション(ゼロエミ)電源と呼び

(参考資料⑤p.123)

トータルで脱炭素化を実現できる(中略)
「安定ゼロエミ電源(水力、地熱、原子力等)」
などの技術を、
脱炭素化技術と呼ぶことにします。

発電時に二酸化炭素を出さなきゃ「ゼロエミッション電源」？

最後に一言

元々「ゼロエミッション」は持続可能な社会を目指して廃棄物を出さないことを目指しているわけで、ずっと未来にまで有害な廃棄物を残す原発が「ゼロエミッション」な訳がありません。私も含めて、大半の人は物事を、言葉の持つイメージでとらえちゃいます。。。本来の意味とは大きく異なるのに、同じ言葉を使って「ゼロエミッション」という言葉の持ついいイメージを利用しようとしてるようにはしか見えません。イメージではなく、一つ一つの言葉の意味をちゃんと確認しながら議論する必要があると思います。